

センニチコウ

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

国体：9月29日から10月9日 障スポ：10月13日から10月15日

国体・障スポ／一般

播種

移植

定植

開花

※摘心や切り戻して開花時期や花数は変わります。
※育成期間は一例となります。花の生育は栽培環境によって異なります。

特徴

乾燥させても色あせず、長持ちするので「千日紅」の名前の由来にもなっており、ドライフラワーにもよく利用される。

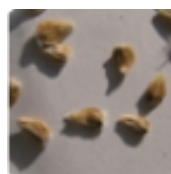
花びらをもたず、苞葉と呼ばれる花の付け根につく葉っぱが紫、赤、ピンクなどに色づいて観賞される。



原産地 — 熱帯アメリカ
科名 — ヒユ科
花言葉 — 不朽、色褪せぬ愛

播種

発芽適温は25℃前後ですので、気温が十分高くなってから種を播くようにしましょう。覆土はうっすらと種が隠れる程度にします。種に綿毛がついている場合は、水を吸いにくくなるので砂もみ等を行い、しっかり取り除くようにしましょう。



種子

移植

本葉2～4枚の時期を目安に、ポットなどに丁寧に移します。

定植

適した土壌：水はけがよい土壌

本葉4～7枚の時期を目安に、プランターや花壇に植え付けます。花壇植えの場合、株間は20～30cm程度が目安です。

管理

暑さや乾燥に強く、日当たりと水はけの良い場所を好みます。多湿が苦手ですので乾燥気味に管理し、土の表面が乾いたら水をたっぷり与えます。生育が旺盛なので、こまめに切り戻しを行い、繁茂しすぎないようにしましょう。また、枯れた葉や花がらもこまめに摘み取りましょう。